

2018年 日本の政治を振り返る

今年最初の国会(第196回通常国会)が召集された1月21日は、とても寒い日でした。朝から粉雪が舞い、昼前にはあたり一面、雪で真っ白に覆われていました。

今年のが国の政治を一言で表すのならば、この日、雪が国会議事堂を覆い隠したように、都合の悪いことを「隠す」政治であったというのが率直な私の感想です。

不都合な文書やデータを「隠す」

第196回通常国会では、安倍政権の目玉法案とされた働き方改革関連法案が審議されました。この審議の中で、厚生労働省が作成した基礎データに多数の異常値がみつかりました。しかし当初、政府は「裁量労働制で働いている人のほうが一般労働者よりも労働時間が短い」ことを示す、政府にとって都合のいいこの誤ったデータを根拠として、裁量労働制拡大を推し進めようとしていました。そして野党からデータの矛盾を指摘されると「平均的な労働者と言っているだけで平均とは言っていない」「そういうデータもあると申し上げただけ」などと言い逃れしようとしました。結局、野党からの厳しい追及・反発もあり、最終的に政府はデータの誤りを認め、裁量労働制の拡大は見送られることになりました。

また、この国会では、財務省が森友学園に対して国有地の不当な値引き売却をし、これに関する公文書(決裁文書)の改ざんをしていたこと、そして、南スーダン PKO に派遣されていた自衛隊の日報が、実際にはみつかったにも関わらず1年以上隠されていた、という事実も明らかになりました。本来公正中立であるべき行政が、首相という最高権力あるいは政治への配慮のため、文書の隠ぺいや違法な改ざんを行っている。政治に対してそこまでの配慮をしなければならないという今の日本の状況は大きな問題です。

耳障りのいい言葉の裏に「隠す」

秋に召集された第197回臨時国会においても、政府の「隠す」姿勢が目につきました。

2日目に行われた代表質問では、自民党議員の質問に対し、総理は「70歳になっても学び働ける社会制度作りを目指す」と答弁しました。これは事実上、年金の支給年齢を70歳まで引き上げるという宣言です。「全世代型社会保障制度」と言う耳障りのよい言葉を隠れ蓑に、皆さんの将来設計を大きく左右するこのような政策を進めていくことを、代表質問とこれに対する答弁というわかりづらい形で宣言したのです。

また、「隠す」姿勢は入管法改正法案の審議にも見られました。法務省が開示した、失踪した外国人技能実習生約2800人からの聞き取り調査票について、コピーが認められず、議員自らが閲覧して1枚1枚書き写すという事態となりました。そして、この資料の精査の結果、それまで政府は、外国人技能実習生の失踪理由について「より高い賃金を求めた失踪が87%」などと、あたかも技能実習生が自分の利益だけを求めて身勝手に失踪したかのような印象を与える答弁をしてきましたが、実際には残業手当も支払われず、最低賃金にも満たないような賃金しか支払われないという「低賃金」による失踪が67%であるということが明らかになったのです。さらにその後開かれた、参議院法務委員会では、3年間で69人もの技能実習生が「溺死・病死・自死」などの不審死を遂げていることが明らかになり、さらには法務省がこれらの不審死について詳細な調査も行っていないという事実も判明しました。

これらについては、野党から鋭い質問が相次ぎましたが、対する安倍総理や担当大臣らの回答はどれもあいまいで、正面からの回答を避けるようなものでしかなく、話を逸らし、問題を覆い隠そうとしているという印象しかありません。

本当のねらいを「隠す」

この法案に関しては、さらに大きな問題があります。

Member of the House of Representatives

Masayuki Aoyama

青山まさゆき通信

発行者：青山まさゆき後援会

第5号【2018年12月20日発行】

〒420-0858 静岡市葵区伝馬町10-44 1階

電話 054-273-5070

FAX 054-273-5080



本当に必要な政治を進めるために

今の「隠す」政治を変えるにはどうしたらいいか。それは、わたし達ひとりひとりが政治に興味を持ち、自分達で扉をこじ開けて本当の狙いを知り、声をあげていくことしかありません。報道されるごく一部のニュースを鵜呑みにするのではなく、その奥に隠された真意は何か、それで得をするのは誰か、きちんと見極めていかなければなりません。

皆さんとともに、本当に必要な政治を進めていく。そのために、私は今後も情報を発信し、活動を続けていきます。

それは、この入管法改正案が、これまで外国に対して門戸を閉ざしてきた我が国に、永住権を持たせる方向で大勢の外国人を受け入れていくという、いわば「移民受入れ法」とも言うべき重要な法案であるということです。わが国の将来のあり方を大きく変えることになる重要な法案にもかかわらず、政府はこの大きな方向転換について国民に対する説明責任も果たさず、あいまいな答弁を繰り返し、十分な議論も尽くさないまま、最後には与党の数の力で強行採決されてしまいました。

街頭演説のお手伝いを

してくださる方を募集しています！



あなたは政治に興味がありますか？
「政治の話は難しくてよくわからない」「政治の話題をしたら浮いてしまいそう」…など、いろいろな理由から、政治の話避けたり、興味を持ってないという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今、政治家や政党の目は、国民から離れてしまっています。国民の政治に関する無関心もあり、特に、選挙権を持たない子どもたちや、投票率の低い若者たちの不利益については、政治家は完全に目をつぶっています。そして、自分を応援してくれている企業や団体の利益ばかりを優先してしまっているのです。

青山まさゆきは、このような政治の現状を何とか変えていきたいと考えています。そのために、特に若い皆さんに政治に興味を持っていただけるよう、街頭演説やホームページ、SNSなどを通じて今の政治をわかりやすく説明し、情報発信を行っています。

青山まさゆき事務所では、街頭演説中に、旗持ちなどの簡単なお手伝いをしてくださる方を随時募集しています。ご協力いただける方は、街頭演説中にスタッフにお声かけいただくか、下記後援会事務所まで、お気軽にお問合せください。



一緒に政治を変えましょう！！

!!募集しています!!

事務所内での軽作業（郵便物発送準備、ポスター裏貼りなど）のボランティアをしてくださる方

- ご自宅やお勤め先などに、青山まさゆきのポスターの掲示をさせていただける方（静岡市葵区、駿河区）
 - 青山まさゆきを囲むミニ集会を開きたい！青山まさゆきの話をもっと聞きたい！という方
- ご協力いただける方、ご要望、お問合せなどは、青山まさゆき後援会（櫻井）まで！！

青山まさゆき東京事務所だより

東京事務所では、ご来客用に静岡茶をご用意しています。今は川根茶ですが、その前は掛川茶でした。比べてみると、それぞれ風味や香りが違いますし、急須でじっくり入れたお茶は、ペットボトルやティーバッグのものとはやはり一味も二味も違います。お茶を飲んでほっと一息いれている時は、私も静岡県民なんだなあ実感します。次は差し入れていただいた御前崎茶をいただこうと思います。楽しみです。

東京事務所 秘書 石神恵美子

■ 静岡事務所（青山まさゆき後援会）
静岡市葵区伝馬町10-44
TEL054-273-5070 FAX054-273-5080

■ 東京事務所（国会事務所）
千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館320号
TEL03-3508-7503 FAX03-3508-3933

■ 青山まさゆきの活動や、街頭演説でお話しさせていただいた内容はホームページやフェイスブックにも随時掲載しています。下記URLまたは右のQRコードからアクセスしてご覧ください。

公式ホームページ <https://www.aoyama-masayuki.com/>
フェイスブック <https://www.facebook.com/m.aoyama.kouenkai/>
ツイッター @my_fc1

